

石本酒造について



社是

極めること 頑なであること 越乃寒梅であり続けること

会社概要

会社名	石本酒造株式会社
創業年	1907年（明治40年）
所在地	新潟県新潟市江南区北山847-1
代表者	4代目蔵元 石本 龍則
事業の内容	清酒・乙類焼酎・リキュール類の製造販売、及び清酒副産物の販売
国内出荷先	全国の越乃寒梅特約店 約380店舗
海外輸出先	米国・英国・韓国・台湾・香港・シンガポール他、世界24カ国（2017年現在）



品質向上に向けた、取り組み



「酒造りにゴールはない」という考えのもと、日々研鑽に励んでおります。
お酒の味わいは、「米」「水」「技術」によって決まります。
弊社では「米」について、一層理解を深め品質向上につなげていきたいという思いで、
2014年に「新潟市大江山地区産五百万石栽培研究会」を立ち上げました。

- 2015年 5月 地元亀田郷大江山地区での酒造好適米「五百万石」の生産を開始
研究会には、酒造り期間中に季節従業員として活躍する農家、石本酒造の正社員、そして新潟県醸造試験場、新潟県農林水産部、JA新潟市のご指導を仰ぎながら活動を継続しています。
- 2016年 5月 NTTドコモ様の水田センサ「Paddy Watch」を試験導入
9月 研究会で栽培した酒米（2015年度産）だけで醸した限定酒を発売
普通酒として、新潟市江南区・中央区・東区の地区限定で出荷
- 2017年 5月 NTTドコモ様の水田センサ「Paddy Watch」を本格導入
9月 2016年度産はグレードアップが実現し、特別本醸造として発売
特別本醸造酒として、新潟市江南区・中央区・東区の地区限定で出荷



水田センサ「Paddy Watch」導入の成果



水田センサは、リアルタイムでの情報収集はもちろん、蓄積したデータも有効です。蓄積したデータは、2017年度産の収穫時期決定に貢献しました。

結果、一等米比率が大幅に向上し嬉しく思っています。

「一層美味しい酒を造ろう！」という緊張感と、期待の両方が膨らみます。

	生産者数	収穫数量	一等米比率
2016年度産	3人	404俵	66.7%
2017年度産	3人 (2人試験生産)	523俵	96.9%
2018年度産	5人 (見込)	920俵 (見込)	—



酒造り
への更なる
意欲向上

製造数量
の
増加

越乃寒梅
ファンの
増加

他社での
水田センサ
導入事例
増加